

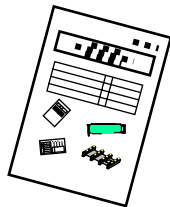
N8104-94 4回線音声・FAX処理ボード 取扱説明書

構成部品一覧表

梱包箱には次のものが入っています。確認してください。

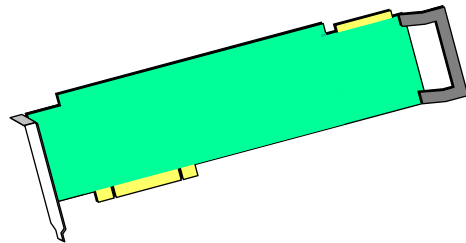
品名	数量	備考
4回線音声・FAX処理ボード	1	
CTBus Cable Assy , 4drop	1	
保証書	1	
N8104-94 4回線音声・FAX処理ボード 取扱説明書	1	本書

N8104-94 4回線音声・FAX処理ボード
取扱説明書

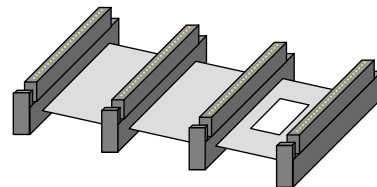
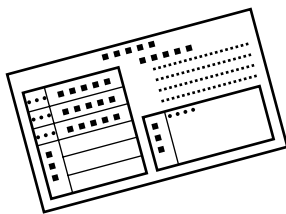


保証書

4回線音声・FAX処理ボード



CTBus Cable Assy , 4drop



ボード製品名及び回線認定番号対応表

販売元ボード名称	製造元ボード名称	回線認定番号
N8104-94	VFX/41JCT-LS	

目次

必ず目を通してください

ご使用前の注意.....	i
重要注意事項	ii
1. はじめに	1
取扱説明書について	1
注意事項	1
2. N8104-94 アダプタについて.....	2
2-1. 概要.....	2
2-2. 必要条件	2
3. N8104-94 アダプタ外観図	3
4. サーバへの N8104-94 アダプタの取り付け	5
5. 電話回線ケーブルの接続	8
6. ハードウェア診断ユーティリティ	9
6-1. UDD を実行する前に	9
6-2. UDD の実行	10
6-3. UDD 終了後の DCM 起動.....	14
7. トラブルシューティング	15
8. 仕様.....	16
9. 技術情報	17
9-1. PCI インストールのヒント.....	17

Microsoft®、Windows NT®、Windows 2000®は米国マイクロソフト社の登録商標です。

ご使用前の注意

1. 本取扱説明書は、N8104-94 4回線・音声FAX処理ボード（以下、N8104-94 アダプタと称する）を正しく動作させる為に必要な、ハードウェアに関する情報や、注意事項について説明するものです。
2. ご使用前には本書を熟読すると共に、その後も大切に保管してください。
3. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式/メディアへの変換等を行うことは、禁止されています。
4. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
5. 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一お気づきの点や、ご不明の点がありましたら、本製品をお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
6. 本書は、サーバの操作に熟知したサーバ管理者、または保守員向けに記載されております。サーバの取り扱いや、各種OSの操作、その他一般的かつ、基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。
7. 本製品を運用した結果の影響については、上記にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

NEC Corporation 2003

日本電気株式会社の許可なく、本書の複製・改変等を行うことは出来ません

輸出する際の注意事項

- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
- ・本製品が日本国外で使用された場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・当社（海外NEC含む）は本製品に関し、海外での保守・修理サービスおよび技術サポート等は行っておりません

情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）表示

- ・この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。
この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

重要注意事項

ご使用前に以下の事項を必ずお読みください。

安全上の注意

必ずお守り下さい。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



情報

この表示の欄は、「運用上の障害が発生する可能性が想定される」内容や、その他「機器を正しくご使用いただくための指示／情報」です。




■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	誤った使い方をした時、発火の可能性が想定されることを注意喚起した内容です。
	誤った使い方をした時、感電の可能性が想定されることを注意喚起した内容です。
	誤った使い方をした時、サーバ本体や N8104-94 アダプタ、およびその他のオプションボードに重大な障害をもたらしたり、火傷や怪我を負う可能性が想定されることを注意喚起した内容です。
	必ず、電源プラグをコンセントから抜くように指示した内容です。

重要な警告事項

 警告	
	保守員以外の方は、N8104-94 アダプタの分解・修理・改造などを行わないでください。分解・修理・改造などを行うと発火、異常動作によりけがや感電をすることがあります。
	N8104-94 アダプタのお手入れの際は水などで洗わないでください。感電することがあります。
	サーバ本体の電源プラグの接続が不完全なまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災を起こすおそれがあります。電源プラグを正しくコンセントに接続してお使いください。
	故障または異常な状態で使用、放置しないでください。 故障や異常な状態（煙が出る、音がする、へんな臭いがする）で使用し続けると、感電や火災を起こすおそれがあります。
	サーバ稼動中および、電源をOFFにした直後は、ヒートシンクなどの部品が高温になっています。アダプタの取り付け・取り外しは、十分時間をおいて内部が冷めたことを確認してから行ってください。
	万一、煙、異音、異臭などが生じた場合、直ちにサーバ本体の電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	N8104-94 アダプタは、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどにN8104-94 アダプタを使用され、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
	濡れた手でサーバ本体の電源プラグを抜き差ししないでください。 感電するおそれがあります。
	本N8104-94 アダプタを、サーバ本体への取り付け・取り外しをするときには、必ず電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグがコンセントに接続されたまま、サーバ本体への取り付け・取り外しを行うと、感電するおそれがあります。
	サーバ本体の電源は、サーバ本体で指定された規格の電源を使用してください。異なる電圧で使用すると、感電や火災をおこすおそれがあります。

製品の廃棄・譲渡に関する注意事項

 注意	
	本製品は、各自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。
	本製品を、他人に譲渡する場合は本書および添付品すべてを必ず一緒に渡してください。

アダプタ取扱いに関する注意事項

 注意	
本 N8104-94 アダプタの取扱いに関する注意事項です。以下の操作ミスに注意してください。これらの操作ミスによる N8104-94 アダプタ及び、サーバ本体の破損に関しては保証いたしません。	
	本 N8104-94 アダプタを取り付けたり取り外したりする作業は、本書及び、サーバ本体の取扱説明書を熟読し、記載の指示に従って作業を行ってください。指示を守らないで行った場合、N8104-94 アダプタやサーバ本体を破損する危険があります。
	サーバ本体に N8104-94 アダプタを取り付けるとき、または取り外しするときに、指をはさんだり、ぶついたりしないように注意してください。
	静電気による部品の破壊を防ぐため、N8104-94 アダプタに触れる前には、必ず人体の放電を行ってください。
	N8104-94 アダプタのコネクタや、各部品の端子部、および N8104-94 アダプタ上で塗装されていない金属部分には決して触れないでください。汚れや腐食等により、接触不良が発生することがあります。また、濡れた手や汚れた手で触れることもご遠慮ください。
	N8104-94 アダプタをスムーズに実装できない場合、無理な力を加えて N8104-94 アダプタおよびサーバ本体を傷つけないように注意してください。
	N8104-94 アダプタを拡張スロットに挿入する際、ブラケットの先端がサーバ本体の他の部位（他の部品、アダプタなど）に触れないようにご注意ください。破損することがあります。
	ケーブルは N8104-94 アダプタのインターフェースに適合するものを使用し、接続先をよく確認した上で接続してください。指定以外のものを使用したり、誤接続したりした場合、障害が発生することがあります。
	ケーブル接続時は、カチッという音がするまでコネクタを挿入して下さい。
	接続ケーブルを踏んだり、重いものを乗せるなどの機械的なストレスをかけたり、熱などを加えないようにしてください。またケーブルを取り外す時はロックを外し、コネクタ部分を持って真っ直ぐに引き抜いて下さい。機械的なストレスや熱を加えたり、コネクタをこじったり、ケーブル部分を持って引き抜いたりすると、ケーブル/コネクタの破損原因ともなり、障害が発生することがあります。

1. はじめに

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用にあたりまして、以下の注意事項をよくお読み下さいますようお願いいたします。

取扱説明書について

本取扱説明書は N8104-94 4回線音声・FAX処理ボード（以下 N8104-94 アダプタと称する）を正しく動作させる為に必要な取り扱い方法、注意事項について説明するものです。
ご使用前には本書を熟読すると共に、その後も大切に保管してください。

注意事項

ご使用になるシステムが、以下の条件に適合しているかどうかを確認してください。

- ・ OS が Windows NT 4.0（Service Pack 6a 以上）、または、Windows 2000（Service Pack 3 まで）のシステムであること。
- ・ 利用可能な 32 ビット、あるいは 64 ビットの PCI スロットを持つこと。
- ・ 64MB 以上のメモリを搭載していること。

2. N8104-94 アダプタについて

2-1. 概要

本 N8104-94 アダプタは Express5800/100 シリーズ、CTINAVI、APEX サーバ等の PCI バスに実装し、アナログ回線または、それと同等の PBX のアナログ回線に接続し、各種ソフトウェアと共に音声・FAXの送受信のサービスを行うことを目的としています。

2-2. 必要条件

N8104-94 をインストールする前に、システムが以下の条件を満たしているかどうかを確認してください。

システム	必要条件
ハードウェア	Express5800/100 シリーズ
OS	Windows NT 4.0 (Service Pack 6a 以上) または、 Windows 2000 (Service Pack3 まで)

3. N8104-94 アダプタ外観図

N8104-94 アダプタの外形、各部の名称および位置は以下（図1）の通りです。

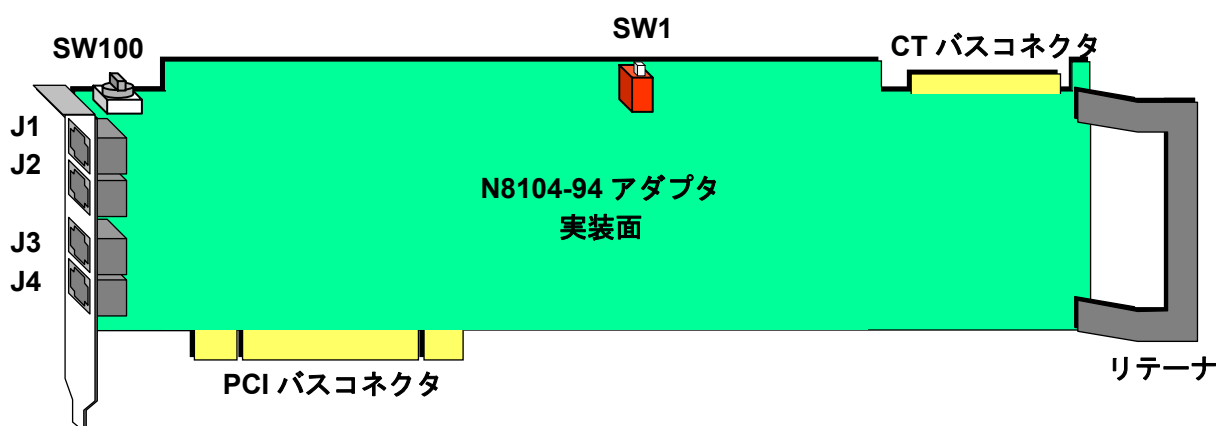


図1 : N8104-94 アダプタ外観図

SW100 : ボード ID 設定ロータリースイッチ

アダプタを複数枚使用する際、各々のアダプタには異なるボード ID を設定します。ボード ID は SW100（ボード ID 設定ロータリースイッチ）により設定が可能です。

・ ボード ID=0 設定（初期状態）

ボード ID=0 に設定した場合、各ボード ID は各ボードの実装位置に応じて自動的に割り振られます。アダプタを複数枚使用する場合、各ボードの ID をすべて 0 に設定することで、ユーザがボード ID を指定する必要がなくなります。

・ ボード ID=1~9,A~F 設定

ボード ID を 0 以外に設定することでユーザが 1~9,A~F の範囲の固有 ID を設定することが可能です。ボード ID を設定する場合は 1 から順番に設定することを推奨します。



ボード ID を、0 以外に設定する場合は、ボード毎に必ず固有のボード ID を設定し、重複のないようにしてください。

SW1 : オン・オフフック切換スライドスイッチ

N8104-94 アダプタが実装されたサーバ本体の電源投入時におけるフック状態の指定を行うスイッチです。実装面から見て、手前（実装面側）にスライドさせると OFF、奥（はんだ面側）にスライドさせると ON です。OFF にするとオンフック、ON にするとオフフックに切り替わります。

- ・ **SW1=OFF 設定（初期状態）**

サーバ本体の電源を入れた後ドライバによるボードの初期化が終了するまでの間、呼び出し側には呼び出し音が伝わります。（オンフック状態）

- ・ **SW1=ON 設定**

サーバ本体の電源を入れた後ドライバによるボードの初期化が終了するまでの間、呼び出し側には話し中音が伝わります。（オフフック状態）



SW1 は OFF（オンフック状態）に設定してください。ON（オフフック状態）に設定されている場合、起動時に動作異常を起こす場合があります。



サーバ本体の電源がオフの場合は、SW1 の設定にかかわらず、呼び出し側には呼び出し音が伝わります。

CT バスコネクタ : ECTF H.100 準拠 CT バスのエッジコネクタ







2 枚以上実装する場合は、CTBus Cable Assy , 4drop（以下 CT バスカーブル）で接続して下さい。その際、1 枚目と最後のアダプタは必ず CT バスカーブルの両端で接続して下さい。

J1~J4 : 通信コネクタ（RJ-11）

J1~J4 がそれぞれポート 1~4 です。1 ポートがそれぞれ 1 回線分です。アナログ電話回線に接続されます。

4. サーバへの N8104-94 アダプタの取り付け

以下の警告および注意事項をよく読み、正しい方法作業を進めてください。

 警告	
	<p>保守員以外の方は、N8104-94 アダプタの分解・修理・改造などを行わないでください。分解・修理・改造などを行うと発火、異常動作によりけがや感電をすることがあります。</p>
	<p>サーバ本体の電源プラグの接続が不完全なまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災を起こすおそれがあります。電源プラグを正しくコンセントに接続してお使いください。</p>
	<p>故障または異常な状態で使用、放置しないでください。 故障や異常な状態（煙が出る、音がする、へんな臭いがする）で使用し続けると、感電や火災を起こすおそれがあります。</p>
	<p>サーバ稼動中および、電源をOFFにした直後は、ヒートシンクなどの部品が高温になっています。アダプタの取り付け・取り外しは、十分時間をおいて内部が冷めたことを確認してから行ってください。</p>
	<p>万一、煙、異音、異臭などが生じた場合、直ちにサーバ本体の電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>濡れた手でサーバ本体の電源プラグを抜き差ししないでください。 感電するおそれがあります。</p>
	<p>本 N8104-94 アダプタを、サーバ本体への取り付け・取り外しをするときには、必ず電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグがコンセントに接続されたまま、サーバ本体への取り付け・取り外しを行うと、感電するおそれがあります。</p>
	<p>サーバ本体の電源は、サーバ本体で指定された規格の電源を使用してください。異なる電圧で使用すると、感電や火災をおこすおそれがあります。</p>





注意

本 N8104-94 アダプタの取扱いに関する注意事項です。以下の操作ミスに注意してください。これらの操作ミスによる N8104-94 アダプタ及び、サーバ本体の破損に関しては保証いたしません。



	本 N8104-94 アダプタを取り付けたり取り外したりする作業は、本書及び、サーバの取扱説明書を熟読し、記載の指示に従って作業を行ってください。指示を守らないで行った場合、N8104-94 アダプタやサーバ本体を破損する危険があります。
	サーバ本体に N8104-94 アダプタを取り付けるとき、または取り外しするときに、指をはさんだり、ぶついたりしないように注意してください。
	静電気による部品の破壊を防ぐため、N8104-94 アダプタに触れる前には、必ず人体の放電を行ってください。
	N8104-94 アダプタのコネクタや、各部品の端子部、および N8104-94 アダプタ上で塗装されていない金属部分には決して触れないでください。汚れや腐食等により、接触不良が発生することがあります。また、濡れた手や汚れた手で触れることもご遠慮ください。
	N8104-94 アダプタをスムーズに実装できない場合、無理な力を加えて N8104-94 アダプタおよびサーバ本体を傷つけないように注意してください。
	N8104-94 アダプタを拡張スロットに挿入する際、ブラケットの先端がサーバ本体の他の部位（他の部品、アダプタなど）に触れないようにご注意ください。破損することがあります。
	ケーブルは N8104-94 アダプタのインターフェースに適合するものを使用し、接続先をよく確認した上で接続してください。指定以外のものを使用したり、誤接続したりした場合、障害が発生することがあります。
	ケーブル接続時は、カチッという音がするまでコネクタを挿入して下さい。
	接続ケーブルを踏んだり、重いものを乗せるなどの機械的なストレスをかけたり、熱などを加えないようにしてください。またケーブルを取り外す時はロックを外し、コネクタ部分を持って真っ直ぐに引き抜いて下さい。機械的なストレスや熱を加えたり、コネクタをこじったり、ケーブル部分を持って引き抜いたりすると、ケーブル/コネクタの破損原因ともなり、障害が発生することがあります。

1. サーバの電源を落として電源コードを抜いた後、カバーを取り外します。

 警告	
	サーバ本体のカバーを取り外す前に、サーバ本体の電源を落とし、電源コードを抜いてください。サーバ本体の電源を落とさなかったり、電源コードを抜かずにカバーを取り外したりすると、感電やアダプタまたはサーバ本体の損傷につながる可能性があります。

 警告	
	サーバ本体の電源をOFFにした直後は、内部の部品が高温になっています。カバーの取り外しは、十分時間をおいて内部が冷めたことを確認してから行ってください。

2. PCI バスマスタスロットからカバーブラケットを取り外します。ほとんどのサーバではバスマスタはすべてのスロットで有効になっています。コンフィギュレーションに問題がある場合は、サーバのマニュアルを参照して PCI スロットでバスマスタが有効になっていることを確認してください。
3. しっかりと固定されるまで N8104-94 アダプタをスロットに押し込んでください。

 警告	
	サーバ本体の内部や、アダプタには突起状の部品が含まれておりますので、取り付けの際には十分注意してください。注意を怠るとけがをすることがあります。

4. 2枚以上実装する場合は、CT バスケーブル（4drop）で接続して下さい。その際、1枚目と最後のアダプタはかならず CT バスケーブルの両端で接続して下さい。
5. サーバのカバーを取り付け、電源コードを差し込みます。

5. 電話回線ケーブルの接続

N8104-94 アダプタの各ポート電話回線ケーブルを接続します。N8104-94 アダプタの通信コネクタ（RJ-11）に電話回線ケーブルを接続して下さい。ケーブルの接続例を下図（図2）に示します。

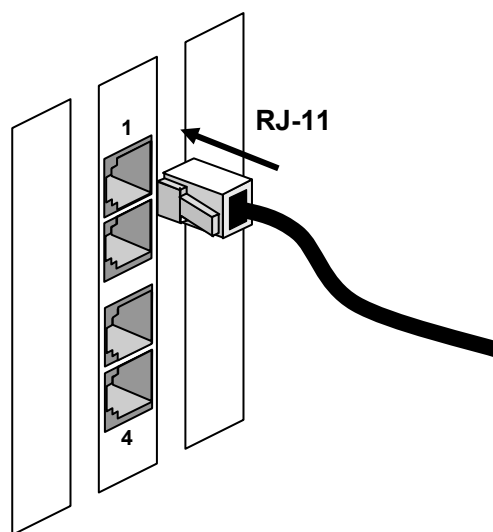


図2 : N8104-94 4回線音声・FAX処理ボードへのケーブルの接続図

6. ハードウェア診断ユーティリティ

システムソフトウェアのインストール完了後（下記注1）、ハードウェア診断ユーティリティを実行して、N8104-94 アダプタの診断を行うことが可能です。診断は UDD (Universal Dialogic Diagnostics Utility) を起動して行います。



システムソフトウェアのインストールについてはサポートソフトウェアマニュアル（音声・FAX 処理ボードサポートソフトウェア）を参照して下さい。なお、サポートソフトウェアの型番及びバージョンにつきましては、販売元または NEC の保守サービス会社へお問い合わせ下さい。

6-1. UDD を実行する前に

UDD を実行する前に、すべてのアダプタから電話回線ケーブルを抜いて下さい。実行対象とするアダプタのボード ID 設定ロータリースイッチ(SW100)を 1 番に設定し、それ以外のボード ID を 2 番以降に設定して下さい。UDD はボード ID が 1 番のボードに対してのみ、実行されます。N8104-94 および、その他の音声・FAX 処理ボードが複数実装してある場合には同様の設定にて 1 枚ずつ UDD を実行して下さい。また、UDD 終了後は 3 ページの説明を参照して再度設定を行ってください。（実行例を下図 3 に示します。）

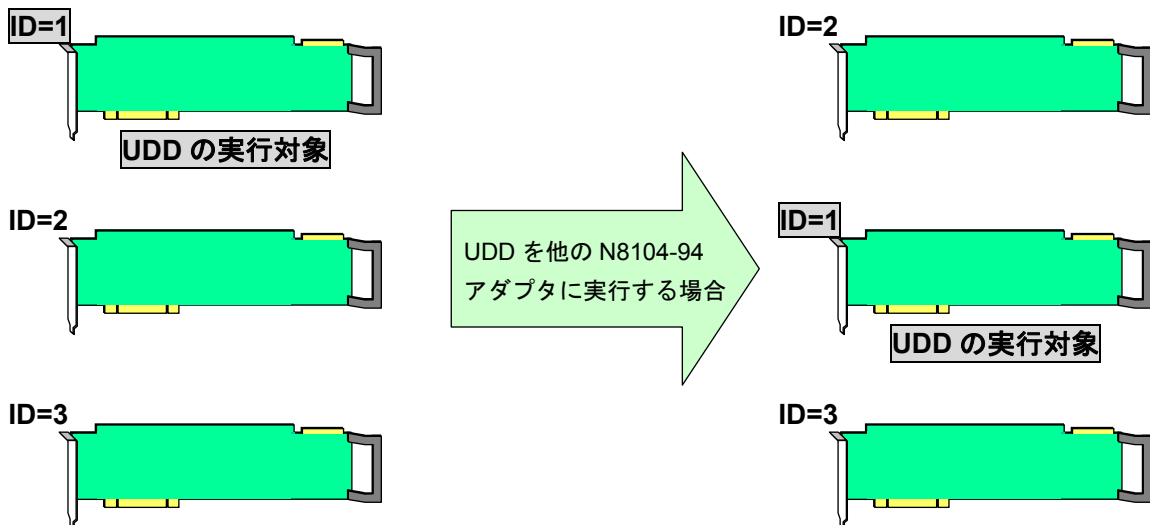


図 3 UDD の実行時の ID 設定



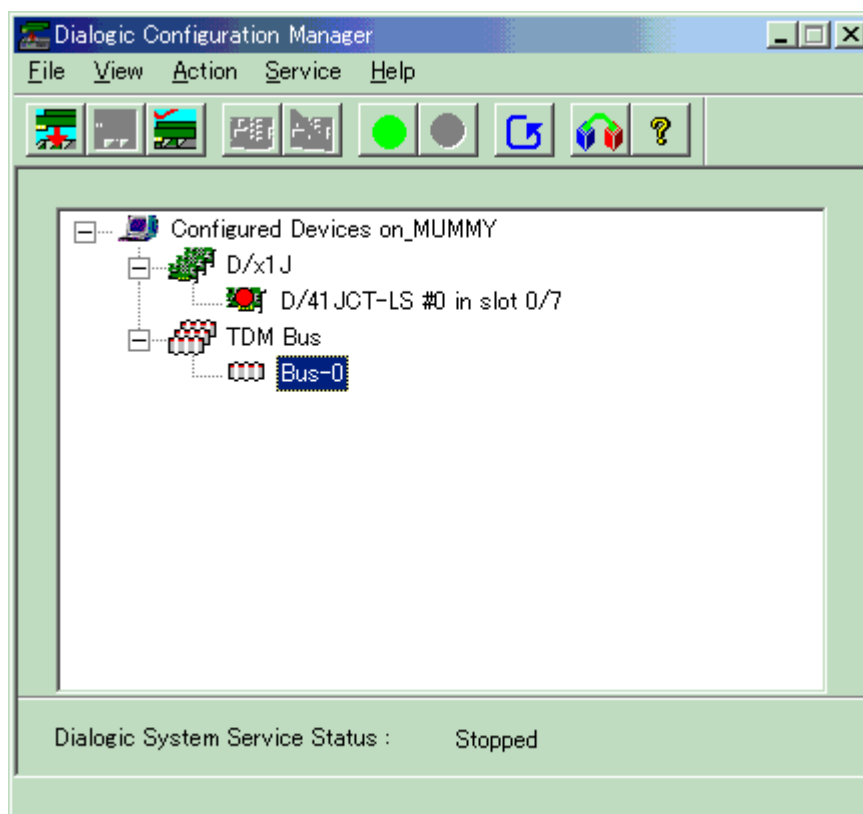
上記の手順で正しく UDD を実行してください。設定方法を誤った状態で実行すると正しく診断できません。



ボード ID 設定時に、ボードの抜き差しや移動を行った場合は、UDD を実行する前に「音声・FAX 処理ボード サポートソフトウェア」のマニュアルの指示に従って、DCM で「Restore Device Default」の実行と、[Configure Device] によるパラメータの再設定を実行してください。

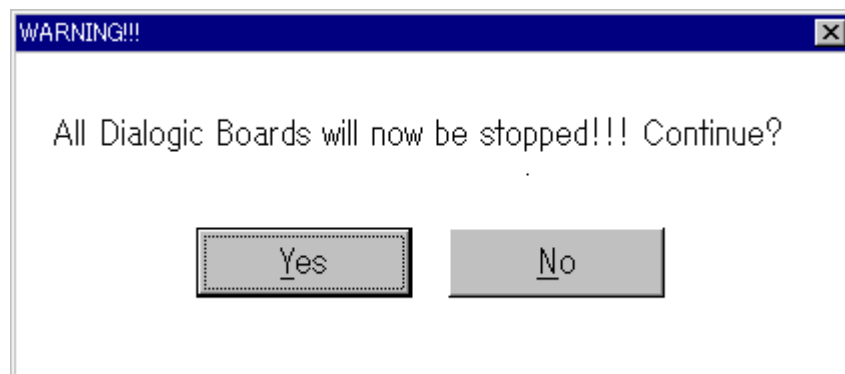
6-2. UDD の実行

1. まず、はじめに画面上左下のスタートボタンから、[プログラム(P)]→[Intel Dialogic System Software] → [Configuration Manager – DCM] をクリックします。
2. DCM が起動し、以下のような画面が表示されることを確認します。

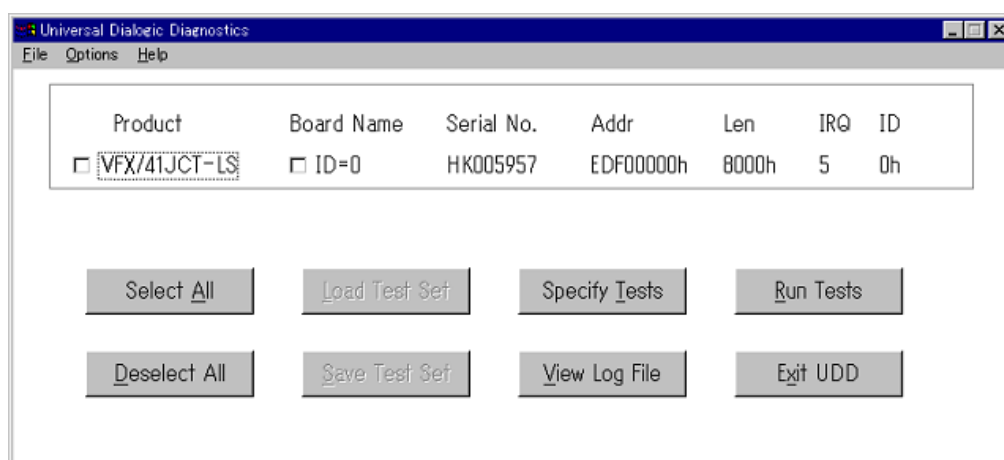


3. [Configuration Manager] のウィンドウを閉じずに、画面上左下のスタートボタンから、[プログラム(P)] → [Intel Dialogic System Software] → [Universal Dialogic Diagnostics Utility] をクリックします。

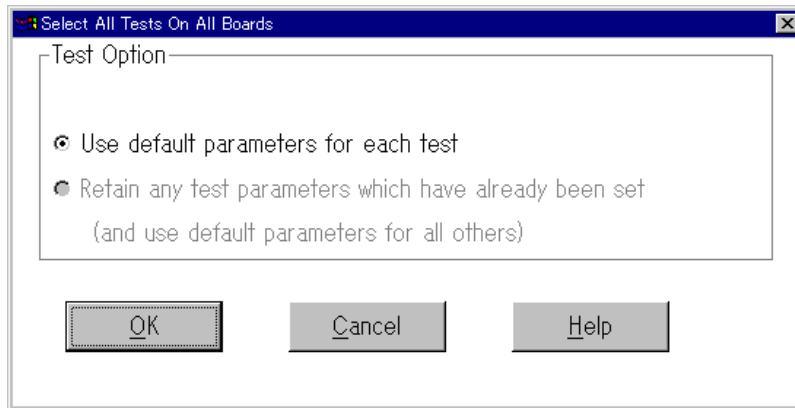
4. 以下の [WARNING!!!] ダイアログボックスが表示されますので “Yes” ボタンをクリックします。



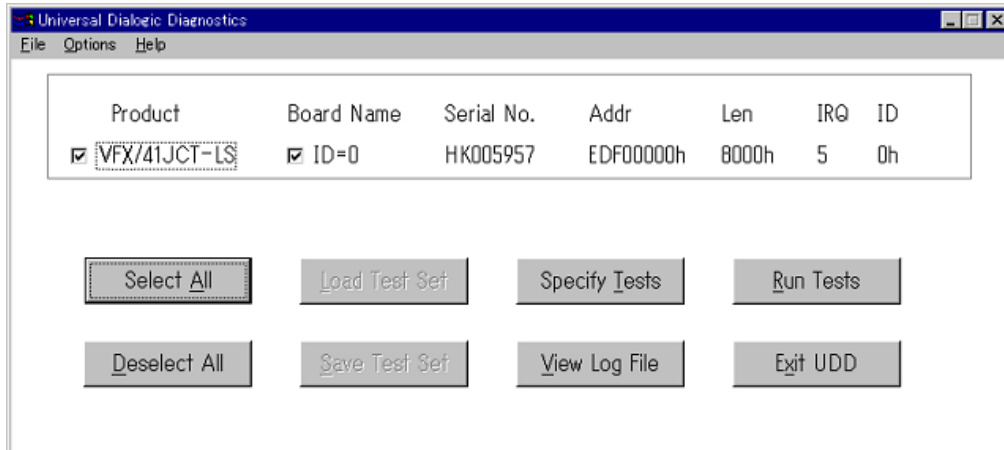
5. [Universal Dialogic Diagnostics] ダイアログボックスが表示されます。通常は “Select All” ボタンをクリックします。個別に選択する場合は、必要な項目をチェックして下さい。



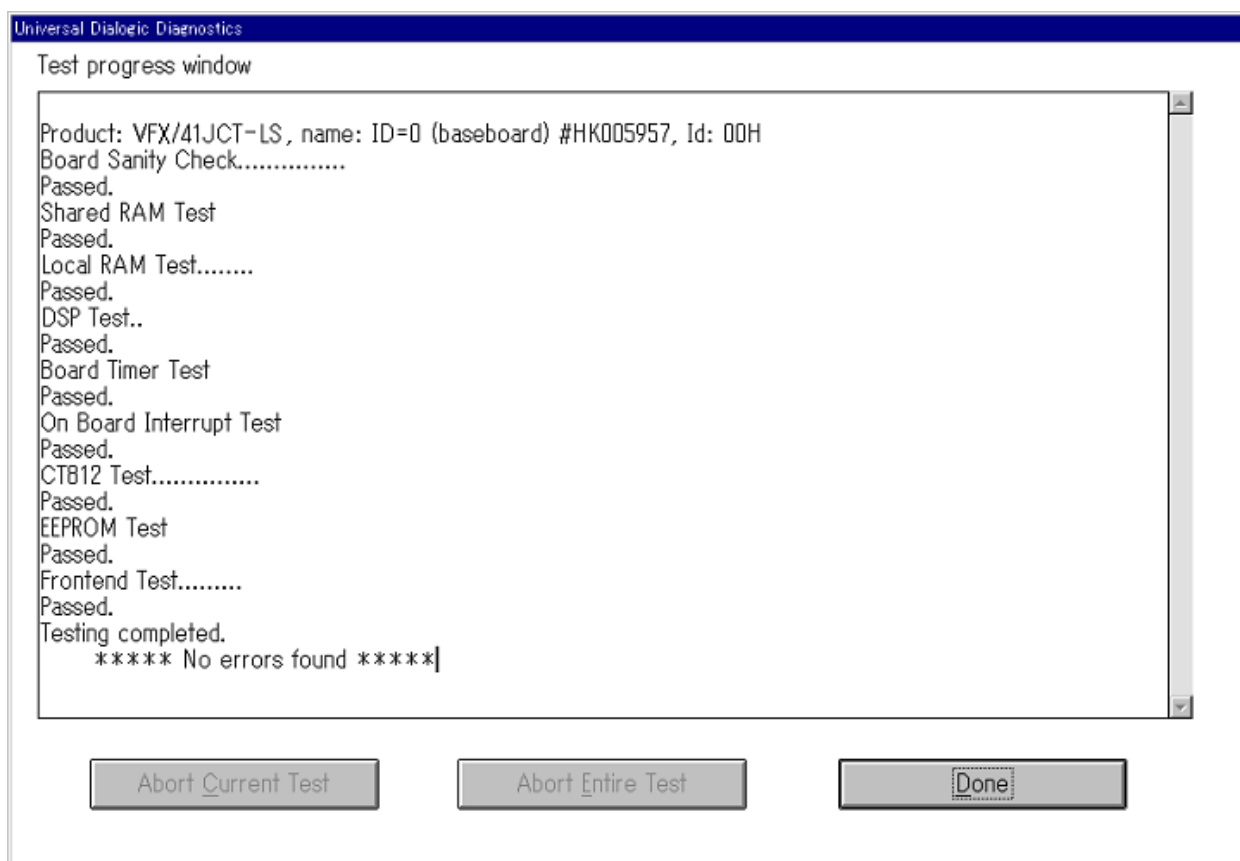
6. 「3」で“Select All”を選択した場合には、下図 [Select All Tests On All Boards] ダイアログボックスが表示されますので、“OK”をクリックします。



7. [Universal Dialogic Diagnostics] ダイアログボックスに戻りますので“Run Tests”をクリックします。

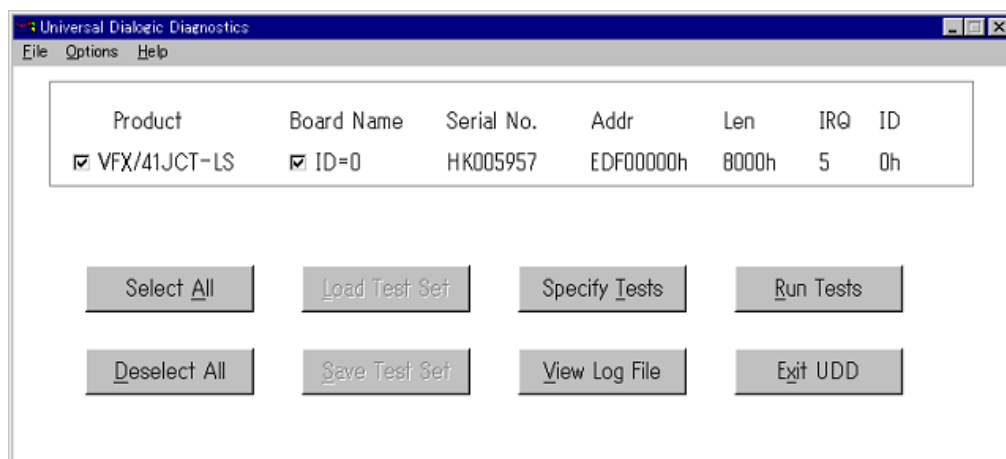


[Test progress window] が表示され、N8104-94 アダプタの診断が開始されます。エラーがない場合は “***** No errors found *****” と表示され、エラーがある場合は別ウィンドウにエラー内容が示されます。確認後 “Done” をクリックしウィンドウを閉じます。




エラーがあった場合、N8104-94 アダプタ本体の問題か、実装上の問題かを判断するため、「7. トラブルシューティング」の「手順1」と「手順3」を順に実施してください。それでも改善されない場合は、販売店または NEC の保守サービス会社にご連絡ください。

8. 再び [Universal Dialogic Diagnostics] ダイアログボックスに戻りますので、“Exit UDD”をクリックして、UDD を終了します。



6-3. UDD 終了後の DCM 起動

UDD 実行後は、DCM の設定を元の運用状態に戻す必要があります。UDD 実行時に DCM の設定に手を加えていた場合、「音声・FAX処理ボード サポートソフトウェア」のマニュアルを参照し、DCM の再設定を行ってください。



音声・FAX処理ボード サポートソフトウェアのマニュアルに記載されている DCM の設定操作を行わずに運用すると、サービス開始時にエラーが発生したり、運用中にトラブルが発生したりする場合があります。

また、UDD の終了直後に DCM (Dialogic Configuration Manager) を起動すると、以下のエラーが出力されますが、動作上は問題ありません。“OK”をクリックしてウィンドウを閉じ、サービスの開始を行ってください。次回からは出力されなくなります。



7. トラブルシューティング

N8104-94 アダプタが電話回線に接続できない場合は、下記手順 1～3 を順次実施してください。

手順 1 : ケーブル接続の確認

ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認して下さい。電話回線ケーブルは N8104-94 アダプタの RJ-11 接続部にしっかりと取り付けられていなくてはなりません。

手順 2 : ハードウェア診断ユーティリティ (UDD) の実行

ハードウェア診断ユーティリティ (UDD) を実行し、N8104-94 アダプタの診断を行ってください。ハードウェア診断ユーティリティ (UDD) の操作法については、「6. ハードウェア診断ユーティリティ」を参照してください。

手順 3 : 一般的な障害対処

まず、電源プラグをコンセントから外し、以下の手順で作業を進めてください。

1. すべてのオプションカードを外してみてください。
2. 外したオプションカードを取り付け直してください。
3. 拡張スロットに空きがある場合は、異なるスロットに取り付け直して下さい。
4. 他のオプションカードにジャンパや、スイッチがある場合、それらの設定を確認してください。
5. ソフトウェアの説明書を参照し、設定が正しいか確認を行ってください。
6. カードが破損していないかを見てください。ピンが曲がっていないかどうか等も見てください。
7. サーバ本体付属のマニュアルを参照し、オプションカードの取り付けに関する部分をチェックしてください。特にスイッチ、ジャンパ、各種セットアップ等に注意してください。

これらの作業を終えたら、サーバ本体を組み直し、電源プラグをコンセントに差し込んで「4. サーバへの N8104-94 アダプタの取り付け」の最初からやり直してください。



ボードの抜き差しや移動を行った場合は、必ず「音声・FAX処理ボード サポートソフトウェア」のマニュアルの指示に従って、DCM で「Restore Device Default」の実行と、[Configure Device] によるパラメータの再設定を実行してください。



上記対応を行っても改善されない場合は、本アダプタをお買い求めの販売店または NEC の保守サービス会社にご連絡ください。

8. 仕様

■ 外形

- ・ PCI仕様 (Revision 2.1) に準拠
- ・ 126mm(w) x 351mm(D) x 22mm(H) (PCI規格のロングカード仕様に準拠)

■ 動作環境

- ・ 動作温度 : 5°Cから 40°C (18°Cから 28°Cを推奨)
- ・ 動作湿度 : 20%から 80%で結露しないこと (45%から 75%を推奨)

■ 機能概要

- ・ 適用回線 : アナログ電話回線
- ・ 回線コネクタ仕様 : RJ-11
- ・ 使用電源 : DC+5V、DC±12V (サーバ本体から供給)
- ・ 網制御方式 : AA型
- ・ 選択信号種別 : DP (10/20pps)、PB (ソフトスイッチ切換)
- ・ 収容回路数 : 4本
- ・ 通信方式 : V.29、V.27ter、V.21、V.17
- ・ 通信速度 : 14400、9600、7200、4800、2400、300 (bps)
- ・ 変調方式 : TCM、QAM、DPSK、FSK
- ・ 符号化方式 : MH、MR、MMR、TIFF/F
- ・ 制御CPU : 32bit
- ・ 外部インターフェース : PCIバス(3.3V/5.0Vユニバーサル 32bit/33MHz)
CTバス(ECTF H.100)

9. 技術情報

9-1. PCI インストールのヒント

PCI コンピュータは起動するたびにアドインカードを自動的に設定するように設計されています。PCI コンピュータは、起動時にネットワークアダプタの I/O アドレスと IRQ レベルを設定します。これらの値はアダプタソフトウェアでは変更できません。コンピュータの起動時に障害が発生する場合は、さらに設定が必要な場合もあります。

このようなコンピュータでは、コンピュータの PCI BIOS 設定ユーティリティを使って、マニュアル設定が可能です。コンピュータのマニュアルをご覧ください。BIOS 設定の一部の検証または、変更が必要な場合もあります。

PCI に関する一般的な対処法を次に示します。

・バスマスタ有効スロット

コンピュータによっては、全てのスロットについて、バスマスタがデフォルトで有効となっていないことがあります。BIOS PCI バス設定をチェックして下さい。Busmaster か Non-busmaster のいずれかに設定されています。Busmaster を選択して下さい。

・ISA アダプタの予約割り込み (IRQ) やメモリアドレス

これにより、PCI カードが ISA カードと同じ設定を使用しないようにしています。PCI BIOS セットアッププログラムをチェックしてください。また、IRQ オプションとして “Enable for ISA”、 “Reserve for ISA”、または “Disable for PCI” がある場合があります。このオプションは、BIOS セットアップのプラグアンドプレイエリアにあることもあります。

・ PCI BIOS のアップデート

最新の PCI システム BIOS を使用すると、PCI 設定の問題を是正できることがあります。コンピュータの製造元に連絡し、最新の BIOS バージョンがあるかどうかを問い合わせてください。

PCI BIOS セットアッププログラムのパラメータの例を示します。

PCI slot#:	アダプタが実装されているスロット
Master:	ENABLED
Slave:	ENABLED
Latency timer	40
Interrupt:	IRQ をリストから選択
Edge-level:	Level

*パラメータ名はコンピュータによって異なります。

N 8 1 0 4 - 9 4

4回線音声・FAX処理ボード
取扱説明書

2003年5月初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL(03)3454-1111 (大代表)